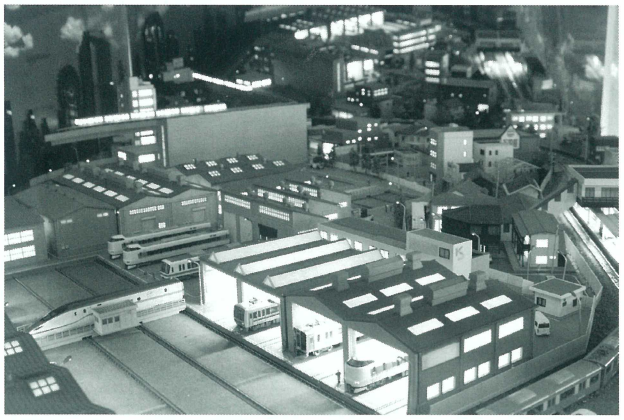

▲鉄道車両があふれる稲田新町のジオラマを本社に飾る。写真奥には同社の社屋も

鉄道車両部品の高度な要求にスピード対応

全員参加で挑む技術集団

企業探訪 in 東大阪

㈱excellent
代表取締役　秋本　倫宏 氏

【所 在 地】東大阪市稲田新町 2-5-6
【電　　話】06-4307-3785
【従業員数】41 人
【創　　業】昭和 30 年
【業　　種】JR・私鉄・輸出鉄道車両用板金部品製造

鉄道車両用部品を手掛ける同社は、N700系新幹線や大阪環状線、近畿日本鉄道の観光特急「しまかぜ」をはじめ、ロサンゼルス、ドバイ、ドーハなど、国内外における様々な車両の金属部品を提供している。

扉や内装のパネル、連結器のカバーなど、車両を構成する部品は数万点に及び、そのほとんどが車種ごとに形状が異なる特注品。また、インフラとして確かな安全性が求められるため、強度や耐久性で厳しい品質基準が要求される。

この高度かつ柔軟な技術力が求められる鉄道車両部品の世界で、同社は「スピード」に強みを見せる。

秋本社長が父より家業を受け継いだのは1999年。手作業は可能な限り削減し、最新のレーザー加工機やプレス機などを積極的に導入することにより、技術レベルの向上を図った。現在は、3次元図面の作成から切断、プレス、溶接まで一貫生産体制を整え、その機動力を生かして市場ニーズに応えている。

このように積極的な設備投資により成長を続ける同社であるが、その根底にあるのはマンパワーであると秋本社長は語る。従業員のスキル向上はいうまでもないが、何より「会社としての考え方や価値観の共有」を大切に〝一致団結〟できる質の高い組織づくりを目指している。

そのために、職場のリーダーや入社3年以内の社員に対する、教育カリキュラムを外部教育機関に委託して編成、定期的に受講させている。

また職場のコミュニケーションを図るためにバスケットボール観戦やバーベキューなどのイベントを実施し、全員参加で盛り上がる。このような取り組みのため社員の定着率は高いという。

昨年来、東大阪市、近畿大学と交流する機会が生まれ、経営学部・理工学部の学生と共に、自社ブランドの製品開発に向けて意見交換をはじめている。「未だ形は見えてきませんが、学生の皆さんが市場調査をしてくれたり、発案してくれたりと、色々刺激されますね。自社製品の夢に一歩近づいたよう」と秋本社長は笑顔を見せる。

▲同社の技術が活きる、ラグビーとモノづくりの街を表現したペンスタンド（非売品）